

人も地球も健康に

Yakult

Yakult & The World!

Good
Morning,
Yakult!

Buenos
Dias,
Yakult!

Selamat
pagi,
Yakult!

Bom dia,
Yakult!

Bonjour,
Yakult!

おはよう,
Yakult!

早上好,
Yakult!

株式会社ヤクルト本社

第61期中間期株主通信

平成24年4月1日～平成24年9月30日

掲載内容

- | | |
|--------------------------|---|
| 01 株主の皆さまへ/
連結業績ハイライト | 09 特集「ヤクルトの国際事業」 |
| 03 セグメント別業績概況 | 11 会社情報 |
| 07 第2四半期連結財務諸表等 | 13 コラム
「便秘傾向の健常成人(60歳以上)を
対象としたビフィズス菌はっ酵乳の飲用効果」 |



To Our Shareholders

ごあいさつ



代表取締役会長（CEO）

堀 澄也



代表取締役社長（COO）

根岸 考成

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、平成24年4月1日から平成24年9月30日までの経営成績につきまして、連結の業績を中心にご報告申し上げます。

平成24年11月



私たちは、生命科学の追究を基盤として、
世界の人々の健康で楽しい
生活づくりに貢献します。

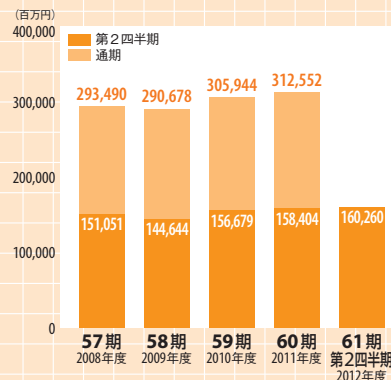
当第2四半期について

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界景気の減速の動きが広がっていることなどを背景に、回復の動きに足踏みが見られ、さらに、欧州政府債務危機を巡る不確実性が依然として高いなど、景気の下振れリスクが存在する状況で推移しました。

このような状況の中で、当社グループは、事業の根幹であるプロバイオティクスの啓発・普及活動を展開し、商品の優位性を訴求してまいりました。また、販売組織の拡充、新商品の研究開発や生産設備の更新に加え、海外事業や医薬品事業にも積極的に

連結業績ハイライト

● 売上高



取り組み、業績の向上に努めました。

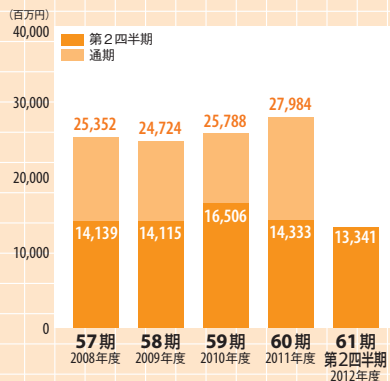
この結果、当第2四半期連結累計期間の連結売上高は160,260百万円（前年同期比1.2%増）となりました。利益面においては、営業利益は9,315百万円

（前年同期比17.8%減）、経常利益は13,341百万円

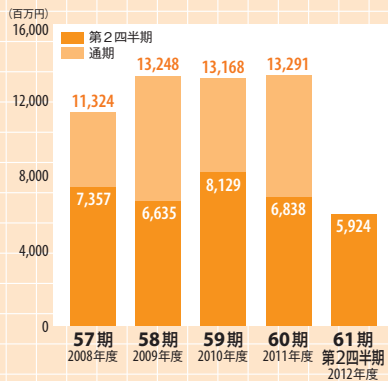
（前年同期比6.9%減）、四半期純利益は5,924百万円（前年同期比13.4%減）となりました。

	当第2四半期累計期間	通期の見通し
売上高	160,260 百万円（前年同期比 1.2%増）	322,000 百万円（前期比 3.0%増）
経常利益	13,341 百万円（前年同期比 6.9%減）	28,000 百万円（前期比 0.1%増）
四半期(当期)純利益	5,924 百万円（前年同期比 13.4%減）	15,000 百万円（前期比 12.9%増）

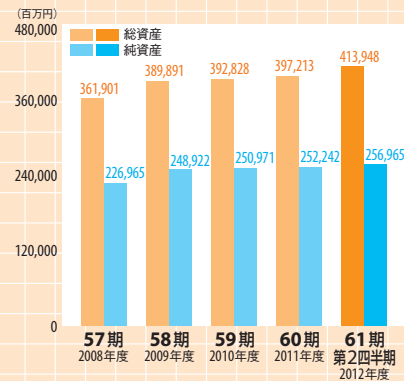
● 経常利益



● 四半期（当期）純利益



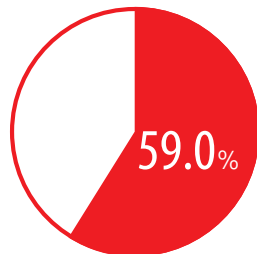
● 総資産／純資産



Financial Result by Segments

※セグメント別の売上高構成比は、セグメント間売上高の消去前金額に対する構成比です。

飲料および食品製造販売事業部門(日本)

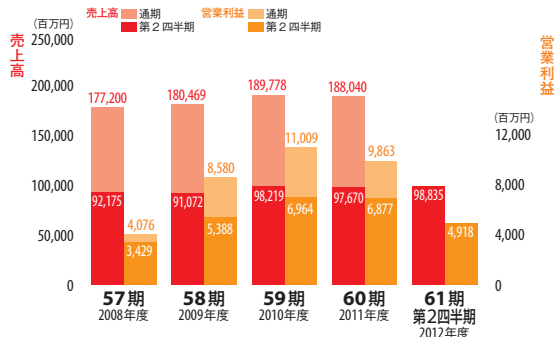


売上高構成比

当第2四半期連結累計期間

売上高
98,835 百万円
(前年同期比: 1.2% ▲)

営業利益
4,918 百万円
(前年同期比: 28.5% ▼)



日本国内における乳製品については、当社独自の「乳酸菌シロタ株」およびピフィス菌「B. プレーベ・ヤクルト株」の「価値普及」活動を展開しました。

宅配チャンネルにおいては、主力商品である乳製品乳酸菌飲料「ヤクルト400」「ヤクルト400 LT」を中心とした飲用体感促進型普及活動に努めました。

店頭チャンネルにおいては、7月から8月まで販売促進策として「世界に広がるヤクルトフェア」を実施し、乳製品乳酸菌飲料「ヤクルト」や「ヤクルトカロリーーフ」などの店頭向け商品を中心に、プロモーションスタッフを活用したお客

さまへの「価値普及」活動を展開しました。

商品別では、6月にデザインリニューアルを行った「ジョア」のブランド活性化策を継続展開しました。また、「ソフル」については、9月に11月までの期間限定商品「ソフル マロン味」を発売し、売上増大を図りました。

ジュース・清涼飲料については、「タフマン」のブランド強化を図るため、6月から7月まで消費者キャンペーンを実施しました。また、7月に子供や高齢者でも飲み切りやすい小容量タイプの果汁100%ジュース「みかん・オレンジミックスジュース」(125ml)を発売しました。

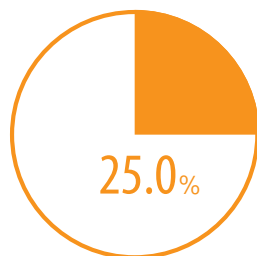
2012年
NEWS
&
TOPICS

期間限定シリーズから「ジョア アップル」と「ジョア」シリーズ初の“食べるタイプ”を新発売

好評の「ジョア」期間限定シリーズ第7弾となる秋冬の新アイテム「ジョア アップル」を、10月から12月下旬にかけて全国で発売します。また、10月からは、「ジョア」にシリーズ初の“食べるタイプ”「ジョア アロエ」と「ジョア ブルーベリー」の2品が新たに仲間入り。おいしさと機能性を兼ね備えたソフトタイプヨーグルトです。“飲む”に“食べる”が加わり、「おいしさ」や「選べる楽しさ」が広がります。



飲料および食品製造販売事業部門(海外)

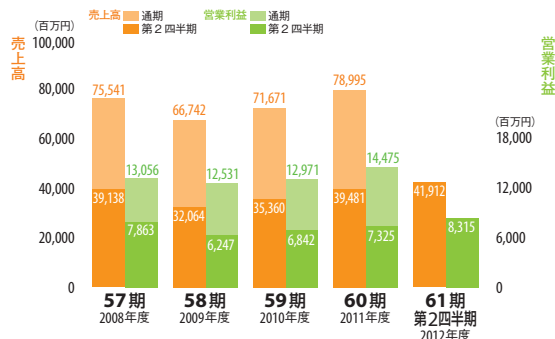


売上高構成比

当第2四半期連結累計期間

売上高
41,912 百万円
(前年同期比: 6.2% ▲)

営業利益
8,315 百万円
(前年同期比: 13.5% ▲)



米州地域

売上高 19,215百万円 (前年同期比: 6.1% ▼)

米州地域においては、ブラジルおよびメキシコで乳製品乳酸菌飲料「ヤクルト」などを製造、販売し、アルゼンチンおよび米国などでは「ヤクルト」などを輸入販売しています。

米国においては、7月からカロリー低減タイプの「ヤクルトライト」の販売を開始しました。

アジア・オセアニア地域

売上高 18,741百万円 (前年同期比: 27.3% ▲)

アジア・オセアニア地域においては、香港、シンガポール、インドネシア、オーストラリア、マレーシア、ベトナム、インドおよび中国などで乳製品乳酸菌飲料「ヤクルト」などを製造、販売しています。

中国においては、7月から吉林省长春市の店頭チャンネルで「ヤクルト」の販売を開始しました。また、中国での販売本数の増加が見込まれるため、本年5月に天津工場(天津ヤクルト株式会社)の生産能力を一日当たり60万本へと倍増させました。さらに、平成25年5月には一日当たり120万本まで増強する予定です。

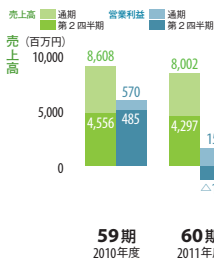
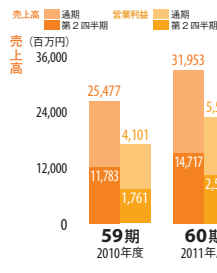
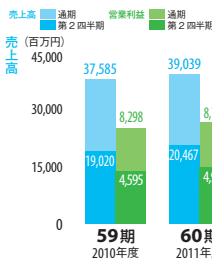
ベトナムにおいては、ホーチミン市、ハノイ市に続き、9月から同国第3の都市であるハイフォン市の店頭チャンネルで「ヤクルト」の販売を開始しました。

ヨーロッパ地域

売上高 3,955百万円 (前年同期比: 8.0% ▼)

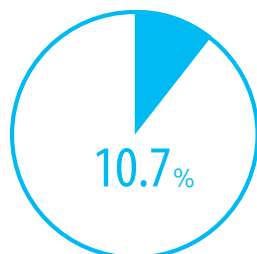
ヨーロッパ地域においては、乳製品乳酸菌飲料「ヤクルト」などをオランダで製造し、同国を含め、ベルギー、イギリス、ドイツ、オーストリアおよびイタリアなどで販売しています。

ヨーロッパ地域全体の円換算ベースの売上高などについては、円高による為替相場の変動の影響を受けていますが、イタリアやイギリスの販売実績は堅調に推移しています。



Financial Result by Segments

医薬品製造販売事業部門

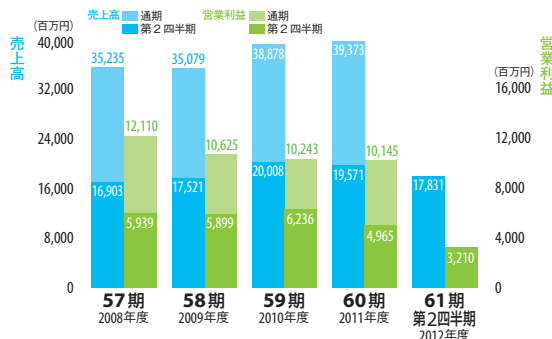


売上高構成比

当第2四半期連結累計期間

売上高
17,831 百万円
(前年同期比: 8.9% ↓)

営業利益
3,210 百万円
(前年同期比: 35.3% ↓)



医薬品については、国内において、がん化学療法剤「エルプラット」の適正使用をさらに推進するため、医療関係者を対象とした講演会や医局説明会などを積極的に開催しました。また、昨年11月に承認を取得した、XELOXレジメンによる術後補助化学療法（手術後の再発防止のための化学療法）の啓発と浸透を積極的に展開しています。さらに、がん化学療法剤「カンプト」をはじめ、活性型葉酸製剤「レボホリナートヤクルト」、代謝拮抗性抗悪性腫瘍剤「ゲムシタピンヤクルト」および遺伝子組み換えG-CSF製剤「ノイアップ」のシェアお

よび販路拡大に努め、がん領域に特化した販売活動に注力しました。

研究開発においては、「カンプト」および「エルプラット」を用いたFOLFIRINOXレジメンの膵臓がんへの適応拡大や、「エルプラット」の胃がんへの効能追加に向け、臨床試験を進めています。また、開発パイプラインの拡充を図り、がん領域でさらに強固な地位の確立を目指します。海外においては、後発薬が発売されている「カンプト」について、市場シェアの維持に努めました。

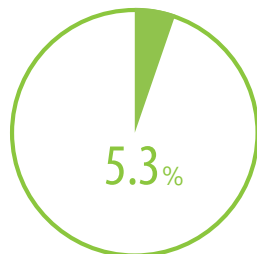
2012年
NEWS
&
TOPICS

「蕃爽麗茶で血糖値対策！ 応援プロジェクトキャンペーン」を実施

世界糖尿病デーである11月14日から2013年3月31日にかけて、「蕃爽麗茶で血糖値対策！応援プロジェクトキャンペーン」を全国で実施します。「蕃爽麗茶」の継続飲用による健康管理を行っていただくため、2段階のステップアップ方式として、STEP1にご応募された方先着20,000名様に「健康応援手帳2013」を、またご応募された方に旅行券などが当たるSTEP2の専用応募ハガキをお届けします。



その他事業部門



売上高構成比

当第2四半期連結累計期間

売上高

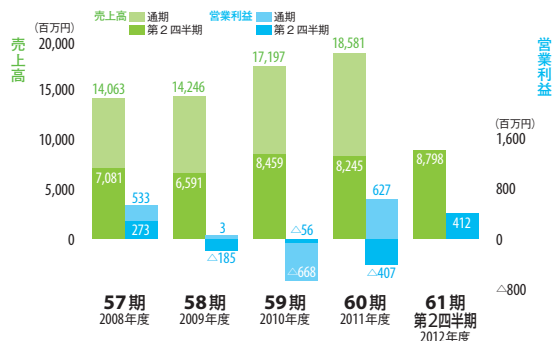
8,798 百万円

(前年同期比: 6.7% ▲)

営業利益

412 百万円

(前年同期比: —)



その他事業部門には、化粧品の製造販売およびプロ野球興行などがあります。

化粧品については、基礎化粧品の主カブランドである「パラビオ」「リベシィ」および「リベシィホワイト」を中心としたカウンセリング型訪問販売活動によるお客さまへの「価値普及」活動を継続して展開しました。

また、当社オリジナルの保湿成分を配合した化粧水「ラク

トデュウ S.E.ローション」を第2四半期の重点商品と位置づけ、「夏の保湿」をテーマに新しいお客さまとの接点づくりに取り組みました。

一方、プロ野球興行については、引き続き、神宮球場において各種イベントを通じたファンサービスやさまざまな情報発信を行い、入場者数の増大に努めました。

化粧品研究・開発技術を結集したクリーム「パラビオ ACクリーム サイ」を新発売

パラビオは、高級基礎化粧品として1995年に発売して以来、ご好評を得ています。12月3日より、当社が創業以来培ってきた乳酸菌研究力を活かした「パラビオ」シリーズ最高峰のクリームとなる「パラビオ ACクリーム サイ」(医薬部外品)を全国で新発売します。毎日お使いいただくことで、乾燥による小ジワを目立たなくすること、メラニンの生成を抑え、シミ・ソバカスを防ぐこと、ハリを与えることが期待できます。



Consolidated Financial Statements

第2四半期連結貸借対照表

単位：百万円

科目	第60期連結会計年度 平成24年3月31日現在	第61期第2四半期 平成24年9月30日現在
資産の部		
流動資産	177,594	188,395
固定資産	219,619	225,553
有形固定資産	136,962	139,880
無形固定資産	5,903	5,986
投資その他の資産	76,753	79,686
資産合計	397,213	413,948
負債の部		
流動負債	71,981	86,141
固定負債	72,989	70,841
負債合計	144,970	156,983
純資産の部		
株主資本	274,247	279,093
資本金	31,117	31,117
資本剰余金	41,290	41,405
利益剰余金	210,536	214,568
自己株式	△8,697	△7,998
その他の包括利益累計額	△45,621	△45,491
その他有価証券評価差額金	511	△363
為替換算調整勘定	△46,132	△45,127
少数株主持分	23,616	23,363
純資産合計	252,242	256,965
負債・純資産合計	397,213	413,948

第2四半期連結損益計算書

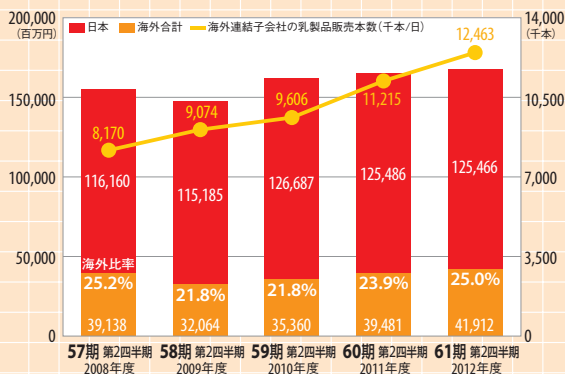
単位：百万円

科目	第60期第2四半期累計 平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで	第61期第2四半期累計 平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで
売上高	158,404	160,260
売上原価	72,041	74,517
売上総利益	86,362	85,742
販売費及び一般管理費	75,025	76,426
営業利益	11,337	9,315
営業外収益	3,830	4,650
受取利息	1,203	1,132
受取配当金	397	529
持分法による投資利益	1,239	1,777
その他	990	1,211
営業外費用	834	625
支払利息	335	354
その他	498	270
経常利益	14,333	13,341
特別利益	2,253	849
固定資産売却益	274	458
工場再編損失引当金戻入額	—	112
社会保険料還付額	1,497	—
その他	482	278
特別損失	2,865	2,551
固定資産売却損	81	17
固定資産除却損	212	413
投資有価証券評価損	1,584	1,892
災害による損失	913	—
その他	73	228
税金等調整前四半期純利益	13,722	11,639
法人税等	4,730	4,268
少数株主損益調整前四半期純利益	8,991	7,370
少数株主利益	2,153	1,445
四半期純利益	6,838	5,924

第61期第2四半期のポイント

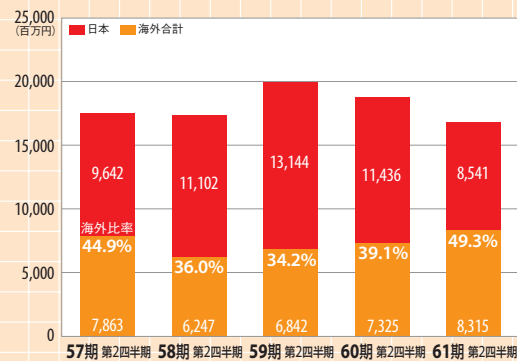
- 国内、海外とも乳製品売上好調により増収
- 国内飲料の販促投資および医薬品の薬価改定の影響等により減益

▶ 売上高推移（連結）



(注) セグメント間売上高の消去前金額で表示しています。

▶ 営業利益推移（連結）



(注) 全社費用等の調整前金額で表示しています。

第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円

科目	第60期第2四半期累計	第61期第2四半期累計
	平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで	平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで
① 営業活動によるキャッシュ・フロー	14,935	21,212
② 投資活動によるキャッシュ・フロー	△16,007	△26,855
③ 財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,621	9,504
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,715	1,114
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,978	4,975
現金及び現金同等物の期首残高	86,550	75,559
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△172	—
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	36	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	83,436	80,534

キャッシュ・フローのポイント

- 営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益11,639百万円に加え、減価償却費があった一方で、売上債権の増加および法人税等の支払額等があったことにより、21,212百万円（前年同期比6.277百万円の収入増）となりました。
- 投資活動によるキャッシュ・フローは、主に生産設備の新設、増設および更新による固定資産の取得があったことにより△26,855百万円（前年同期比10,848百万円の支出増）となりました。
- 財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の増加があった一方で、配当金の支払いおよびリース債務の返済等により9,504百万円（前年同期比14,125百万円の収入増）となりました。

▶ より詳細な財務情報は、当社ホームページの「IR情報」で各種資料がご覧いただけます。

<http://ir.yakult.co.jp/>

ヤクルト IR情報

検索

ヤクルトの国際事業 Yakult & The World!

1964年の海外進出以来、現在、
世界31カ国で1日2,000万人以上の方々に愛飲されるヤクルト。
本号では、成長著しいアジア地域からインドネシアを紹介します。

インドネシアでは、近年、健康に対する意識の高まりなどが追い風となり、昨年の一
平均の乳製品販売数量が前年と比べ、約50
万本/日増の225万本/日を超えるなど大きく
伸長しています。

インドネシアの約2億4千万人という人口を
考えても、今後十分な成長余力を秘めている
国といえます。販売本数の増加に伴い、商品
供給体制についても整備を進めており、製販
両面から事業の強化を図っています。

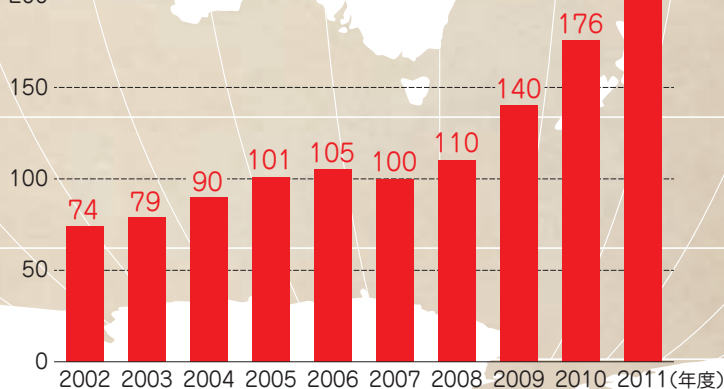
今回は、インドネシアに焦点をあて、その
販売、製造体制について紹介します。

Indonesia



(万本/日)
250

●インドネシアにおける
ヤクルトの販売本数の推移



インドネシアにおけるヤクルトの製造・販売体制

インドネシアヤクルト株式会社では、1991年に「ヤクルト」の販売を開始しました。その後、1997年のアジア経済危機を乗り越えて事業を継続・拡大し、同社の直近の2012年の第2四半期販売実績は一日平均255万本（前年比116.6%）と大きく伸長しています。納入店舗数は89,000店（前年同月差4,869店増）まで増え、販売体制の強化が続いています。

今後も販売エリアの拡大によるさらなる需要が見込まれることから、インドネシア第2の都市であるスラバヤ市近郊に第2工場の建設が決まり、2013年12月の生産開始を目指しています。東西1,000kmに渡るジャワ



▲インドネシアヤクルト スラバヤ工場（仮称）

島の東側に第2工場を新設することで、西側に位置する第1工場と物流面において高い補完性が確保できるようになります。

フィルムショーイングカーによる普及活動

プロバイオティクスであるヤクルトとその効果を伝えるため、人々が集まるところでの普及活動にフィルムショーイング用ミニバスを使用しています。所要時



間は質疑応答を含め約30分、最大12名まで参加可能。毎回社員2名で実施し、終了後サンプルを手渡しています。



インドネシアでも工場見学会を行っています！

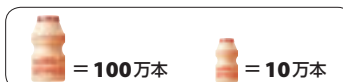
工場見学を実施し、乳製品の製造工程の見学やビデオ上映を通して、ヤクルトグループの企業姿勢やヤクルト商品をアピールしており、年間約6万人の見学者が訪れます。



世界に広がるヤクルト

現在、海外28の事業所を中心に、日本を含む32の国と地域で、主として乳製品乳酸菌飲料「ヤクルト」の製造、販売を行っており、世界中で毎日3,000万人を超える方々にご愛飲いただいています。

【海外事業所一覧 & 各地域のヤクルトの売上本数】



海外：2012年1月～6月の1日当たり平均本数
日本：2012年4月～9月の1日当たり平均本数

EUROPE

- ▶国と地域：10
- ▶1日当たりの販売本数：72万本

ヨーロッパ地域

- ヨーロッパヤクルト株式会社
- オランダヤクルト販売株式会社
- ベルギーヤクルト販売株式会社
- イギリスヤクルト販売株式会社
- ドイツヤクルト販売株式会社
- オーストリアヤクルト販売株式会社
- イタリアヤクルト販売株式会社
- ヤクルト本社ヨーロッパ研究所

THE AMERICAS

- ▶国と地域：7
- ▶1日当たりの販売本数：531万本

米州地域

- ブラジルヤクルト商工株式会社
- メキシコヤクルト株式会社
- アルゼンチンヤクルト販売株式会社
- アメリカヤクルト株式会社

JAPAN

- ▶1日当たりの販売本数：902万本

ASIA AND OCEANIA

アジア・オセアニア地域

- ▶国と地域：14
- ▶1日当たりの販売本数：1,524万本



- 香港ヤクルト株式会社
- シンガポールヤクルト株式会社
- インドネシアヤクルト株式会社
- オーストラリアヤクルト株式会社
- マレーシアヤクルト株式会社
- ベトナムヤクルト株式会社
- インドヤクルト・ダノン株式会社
- 中国ヤクルト株式会社
- 広州ヤクルト株式会社
- 上海ヤクルト株式会社
- 北京ヤクルト販売株式会社
- 上海ヤクルト販売株式会社
- 天津ヤクルト株式会社
- 台湾ヤクルト株式会社※
- タイヤクルト株式会社※
- 韓国ヤクルト株式会社※
- フィリピンヤクルト株式会社※

※台湾ヤクルト株式会社、タイヤクルト株式会社、韓国ヤクルト株式会社、フィリピンヤクルト株式会社以外は連結子会社です。

会社概要

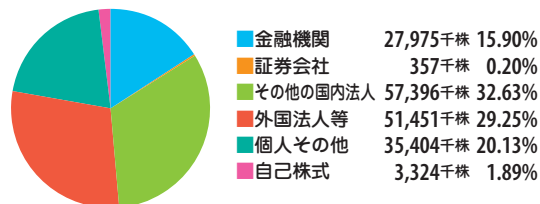
商号 株式会社ヤクルト本社
(YAKULT HONSHA CO.,LTD.)
設立 昭和30年4月9日
本店 東京都港区東新橋1丁目1番19号
電話 03(3574) 8960(大代表)
資本金 311億17百万円
従業員 3,043人

(注) 上記従業員数には、関係会社等への出向者296人および嘱託169人を含んでいます。

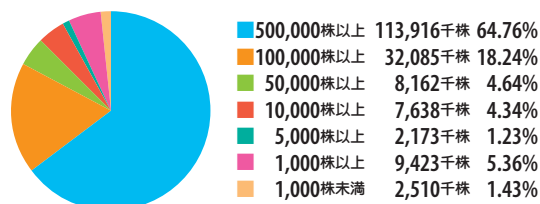
株式の状況

発行可能株式総数……………700,000,000株
発行済株式総数……………175,910,218株
株主数……………23,616名

所有者別分布状況



所有株式数別分布状況



役員

代表取締役会長	堀 澄也	取締役	安田 隆二	常勤監査役	阿部 晃範
代表取締役社長	根岸 孝成	取締役	福岡 政行	常勤監査役	山上 博資
取締役	川端 美博	取締役	クリスチャンノイ	監査役	奥平 哲彦
取締役	甲斐 千束	取締役	レナト・ホスレイ	監査役	角屋 良平
取締役	根岸 正広	取締役	大関 康男	監査役	谷川 清十郎
取締役	阪本 重善	取締役	山本 公総	監査役	小林 節子
取締役	成田 裕	取締役	松園 直史	監査役	吉田 宏一
取締役	リチャード・ホール				

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
エムエルピーエフエス ノミニー・ダノン アジア ホールディングス プライベートリミテッド	35,212	20.02
松尚株式会社	11,530	6.55
株式会社フジ・メディア・ホールディングス	6,492	3.69
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口	4,957	2.82
共進会	4,364	2.48
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505041	4,147	2.36
キリンビバレッジ株式会社	2,458	1.40
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,267	1.29
株式会社みずほ銀行	2,186	1.24
日本生命保険相互会社	2,120	1.21

(注) 共進会は、当社の取引先であるヤクルト販売社を会員とする持株会社です。
上表のほか、当社は自己株式3,324千株を保有しています。

便秘傾向の健常成人（60歳以上）を 対象としたビフィズス菌はっ酵乳の飲用効果

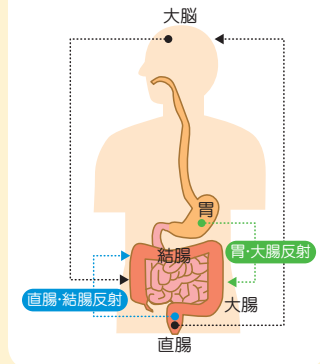
高齢になると、消化管機能や筋力の低下により、便秘を発症する割合が高くなります。本コラムでは便秘傾向にある健常成人（60歳以上）を対象に、ビフィズス菌はっ酵乳を継続して飲用してもらうことによる便性改善効果について紹介します。

排便のしくみ

食べ物は、口から入って胃と小腸を通る間に消化され、小腸で栄養素が吸収されます。その後、大腸では、消化されなかった食べ物から水分が吸収され便が作られます。そして、便が直腸に到達したときに、直腸の壁が刺激されて「便が到着しました」という信号が

脳に送られ、便意が起こります（下図）。直腸は結腸にも信号を送るので、結腸の動きが活発になって直腸にさらに便が送りこまれます（直腸・結腸反射）。また食べ物が胃に入ってきて、胃から大腸に信号が送られると結腸が反射的に収縮して便を直腸に送り出そうとします（胃・大腸反射）。

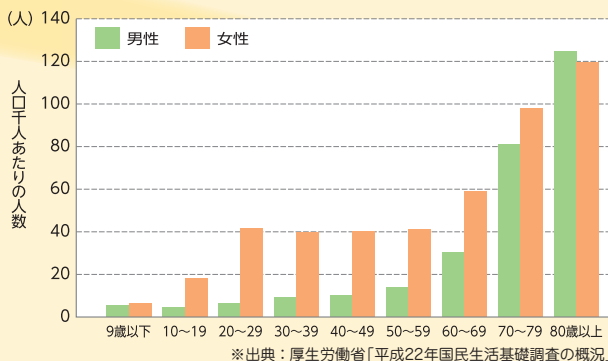
● 排便を促すメカニズム



加齢に伴う便秘の増加と原因

加齢とともに便秘症状を持つ人が増える原因として、排便を促す神経反応の衰えや、食事量の減少による便量の減少、筋力（腹筋）の低下などが挙げられます。また、腸内細菌バランスの乱れも便秘の発症に影響しているといわれています。腸内細菌は人の健康に対する影響から、有用菌、有害菌、中間的な菌に分けられます。最優勢菌の1つで、有用菌のビフィズス菌は、人の健康への

● 便秘症状を持つ人の割合（年代別）



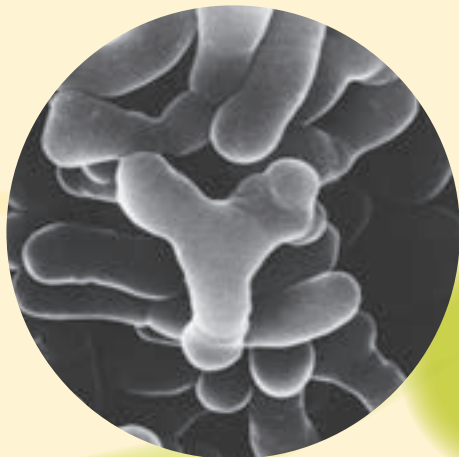
維持・増進に大きく寄与するため、優勢にしておくことが大切です。ところが、高齢になるにつれてビフィズス

菌が減少し有害菌が増加します。これが高齢者の便秘を悪化させる原因の1つといわれています。

ビフィズス菌はっ酵乳の飲用効果

便秘傾向の60歳以上の58名に協力してもらい、2週間の前観察期の後、ビフィズス菌B.プレーベ・ヤクルト株を含むはっ酵乳（B.プレーベ・ヤクルト株：100億個以上/1本）を1日1本、4週間継続して飲用してもらったところ、飲用前の排便回数は1週間あたり5.0回でしたが、飲用4週間目では6.3回に、排便日数は4.3日（飲用前）から飲用4週間目には5.4日になりました。また排便量も21.5個*（飲用前）から飲用4週間目では28.8個まで増加しました。さらに、3日以上連続して排便のなかった被験者の割合をB.プレーベ・ヤクルト株はっ酵乳の飲用前後で比較したところ、飲用前では、52%であったものが、飲用後には33%まで減少しました（右図）。

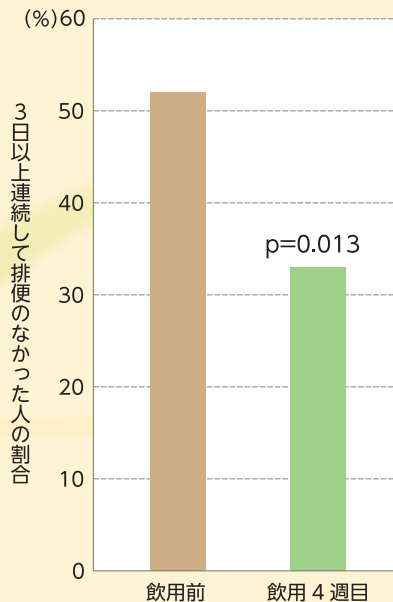
※排便量：直径2cm×長さ5cmの円柱何個分に相当するか



ビフィズス菌
「B.プレーベ・
ヤクルト株」

以上の結果から、ビフィズス菌B.プレーベ・ヤクルト株はっ酵乳の継続飲用により、排便頻度や排便量の増加を促しました。また、データは示しませんが、排便時のいきみや残便感を軽減する効果も認められたことから、ビフィズス菌はっ酵乳の飲用は、高齢者の便秘症状の改善に有効な手段の1つであるといえます。

●B.プレーベ・ヤクルト株はっ酵乳の飲用効果 (3日以上連続して排便のなかった被験者の割合)



ホームページのご紹介

当社のホームページでは、会社情報、IR情報、商品情報、環境対策などさまざまな最新情報を掲載しております。特に株主・投資家の皆さまに向けましては、トップメッセージ、決算短信、有価証券報告書のほかIRニュースなども掲載しております。ぜひご覧ください。



<http://www.yakult.co.jp/>

株主優待

当社商品の提供 ※保有期間に応じて優待内容が異なります。

毎年3月31日現在で100株以上所有の株主の皆さま(保有期間3年未満)

- 当社商品3品(「化粧品」「乾めん詰め合わせ」「ジュース詰め合わせ」のうちお好きな商品を1品進呈(※1,000株以上所有の株主の皆さまは商品内容が異なります)。

毎年3月31日現在で100株以上所有の株主の皆さま(保有期間3年以上)

- 当社商品3品(「化粧品」「乾めん詰め合わせ」「ジュース詰め合わせ」のうちお好きな商品を2品進呈(※1,000株以上所有の株主の皆さまは商品内容が異なります)。

※発送は7月下旬の予定です。

東京ヤクルトスワローズが神宮球場で開催するプロ野球公式戦「株主優待証(外野自由席)」の提供

毎年9月30日現在で1,000株以上所有の株主の皆さま

- 対戦するセ・リーグ5チームにつき2試合ずつ計10試合プラス交流試合2試合で計12試合まで観戦できます。なお、1試合につき外野自由席の入場券2枚まで引き換え可能です。

毎年9月30日現在で100～999株所有の株主の皆さま

- 年間2試合まで観戦できます。なお、1試合につき外野自由席の入場券2枚まで引き換え可能です。

※発送は3月中旬の予定です。

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年の3月31日まで	
株主総会	定時株主総会	毎年6月中
	臨時株主総会	必要に応じ随時
基準日	定時株主総会の議決権	3月31日
	期末配当金	3月31日
	中間配当金	9月30日

公告掲載方法 電子公告 <http://www.yakult.co.jp/>
ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

株主名簿管理人	東京証券代行株式会社
事務取扱場所	〒100-0004 東京都千代田区大手町二丁目6番2号 (日本ビル4階)
(郵便物送付先) 連絡先	〒168-8522 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 東京証券代行株式会社 事務センター ☎0120-49-7009

株式に関する手続きについて 株券電子化にともない、現在の各種手続きのお申し出先は次のとおりとなっております。

1. 未支払配当金のお支払い

株主名簿管理人である東京証券代行株式会社にお申し出ください。

2. 住所変更、単元未満株式の買取請求、配当金受取方法の指定など

お取引の証券会社等にお申し出ください。なお、特別口座に記録された株式の手続き(証券会社に開設した口座への振替など)に関しましては、すべて当社の特別口座管理機関である東京証券代行株式会社にお問い合わせください。

Yakult

株式会社ヤクルト本社

証券コード2267

東京都港区東新橋1丁目1番19号

TEL:03-3574-8960(大代表)

<http://www.yakult.co.jp/>

